

## 東北のみちのあり方について (提言)」 (H14.6.17)

## 東北のポテンシャル

・広大な国土 歴史ある文化や風土 ゆとりと癒しの地	豊かな自然環境 安全な食料基地・エネルギー基地 新技術の開発・集積 (光通信技術等)
---------------------------------	--

## 東北の課題

脊梁山脈、峠、豪雪の克服 少子高齢化への対応 情報技術の飛躍的な発展への対応 身近な暮らしの質の向上や個性ある地域形成を重視する傾向への対応	財政的制約への対応 地球規模での環境問題への対応
---	-----------------------------

## 提言にあたっての共通認識

・東北地方は  
経済を活性化するための道路  
生活を豊かに「便利に・楽しく」  
するための道路が不十分

・東北地方には、必要性、効率性、緊急性の高い、投資に値する多くの道路があり、その整備が必要

## 東北の今後の道路政策のあり方」の視点 (事務案)

## 東北のポテンシャル

・広大な国土 歴史ある文化や風土 ゆとりと癒しの地	豊かな自然環境 安全な食料基地・エネルギー基地 新技術の開発・集積 (光通信技術等)
---------------------------------	--

## 東北の課題

脊梁山脈、峠、豪雪の克服 東北と近接する東アジアの経済成長を生かした国際競争力の強化 地球規模での環境問題への対応 身近な暮らしの質の向上や個性ある地域形成を重視する傾向への対応	少子高齢化への対応 安全で安心な社会の実現 情報技術の飛躍的な発展への対応 財政的制約への対応
--	--

## 視点検討にあたっての共通認識

・東北地方は  
経済を活性化するための道路が不十分  
生活を豊かに「便利に・楽しく」するための道路が不十分  
冬期道路交通サービスの確保が必要

・東北地方には、必要性、効率性、緊急性の高い、投資に値する多くの道路があり、その整備が必要

## 今後の道路政策に求めるポイント

## 既存道路の戦略的管理及び徹底的な活用

交通影響最小化とトータルコスト抑制など戦略的な道路管理による長寿命化  
計画的な道路管理の組織と技術者の充実  
維持管理体系や予算体系の整備  
道路管理に対する国の技術的支援  
道路管理用の光ファイバーネットワークの民間開放とともに、利用の高度化の検討  
冬期道路交通サービスの確保のための道路構造の検討  
日常の維持管理のコスト削減

## 道路利用者・地域住民とともに進める道路整備

道路行政に関する情報公開やP活動の推進とアカウンタビリティーの向上  
事業のわかりやすい目標設定と実績測定  
NPOなど多様な主体と連携を図りながらの地域住民と一体となった道路整備や道路管理、迷惑行為に対する道路利用のモラル向上

## スピーディな政策展開

早期供用やコスト削減のために、時間管理概念の浸透、契約方法の改善、新技術の開発、新たな技術を活用した計画や見直し  
スピーディな政策展開を図るための東北独自仕様の基準策定や、整備優先区間の明確化  
効率的かつスピーディに交通サービスを提供するために、省庁間の縦割りを廃止し、交通や物流の結節機能の強化など横断的な連携施策を展開

## 東北のみちのあり方について(提言)」(H14.6.17)

### 提言1 広域的な交流・連携の促進と、産業経済の再編・発展の基礎的な条件である「高速道路ネットワーク」は不可欠かつ緊急整備(「強い東北」の形成へ)

- ・距離と峠と雪」の克服を可能とする「縦」のネットワーク拡充とグローバル化の観点も含めた「横」のネットワークの整備
- 投資効果を最大限に発揮するために、不連続な高速道路を連結
- 整備計画決定済みの高速道路の緊急整備を図るために、現行の有料道路制度を積極的に活用
- 環境改善、物流効率化、整備区間の有効活用の観点から、弾力的な料金体系を導入

### 提言2 個性と活力のある地域づくり(「画一的な地域・まち」から「東北らしき地域・まち」の再生へ)

- 自立した広域的な地域づくりに向けた幹線道路ネットワークの整備
- 自然や環境との共生、職住近接、土地利用の高度化などにより効率的で持続可能なコンパクトシティの整備とコンパクトシティ相互間を連携する道路整備
- バイパス 環状道路等の整備、TDM施策やマルチモーダル施策による都市交通サービスの円滑化
- 既存道路の道路空間の再構築
- 冬期も含め、歩行者や自転車が安心して快適に通行可能な、高齢者や身障者に配慮した生活道路の整備

### 提言3 心から安心できる生活環境(「道路防災」から「くらしの安全」の確保へ)

- 最低限「命を守る道路」は必要
- 高齢者や身障者等に配慮した各種道路整備や交通安全対策の推進
- 都市における緊急車両等の通行の確保、火災時の延焼防止等のための防災空間の確保
- 自然災害時における緊急輸送道路や代替路の確保のため、格子型の高速度道路ネットワーク等の道路網の形成が不可欠
- 関係機関と一体となった、危機管理、道路交通管理等のソフト施策の推進
- 冬期の社会経済活動や生活面への影響を軽減するため、雪氷対策・ITS等の技術開発、冬期交通の確保、雪情報提供などの推進

## 東北の今後の道路政策のあり方」の視点(事務案)

### 視点1 広域的な交流・連携の促進と、産業経済の再編・発展の基礎的な条件である「高速道路ネットワーク」は不可欠かつ緊急整備(「強い東北」の形成へ)

- ・距離と峠と雪」の克服を可能とし、かつ東アジアの経済成長を生かし、環日本海ひいては東北全体の国際競争力を高めるための「縦」のネットワーク拡充と「横」のネットワークの整備
- 産業の国際化に向け、国際標準コンテナの通行を可能とする国際物流基幹ネットワークの整備
- 人流 物流の効率化を図るために、港湾 空港へのアクセス強化を図る道路整備
- 広域的な交流・連携および救急医療等の支援と既存道路の有効活用のための、緊急退出路やスマート工の整備
- 首都圏等へ食料を安定供給していくためのシステム構築
- 整備効果の早期発現のために、不連続な高速道路を連結するとともに、既存道路を活用したサービス水準の高いネットワークを構築
- 採算性が悪くとも緊急性の高い整備計画決定済みの高速道路については、新直轄方式などによる整備手法も積極的に活用
- 環境改善、物流効率化、整備区間の有効活用の観点から、弾力的な料金体系を導入
- 新たな国土計画に対応した道路整備
- 東北の一体的な発展を目指すために、広域ブロック単位で段階的な道路整備を計画

### 視点2 個性と活力のある地域づくり(「画一的な地域・まち」から「東北らしき地域・まち」の再生へ)

- 自立した広域的な地域づくりに向けた幹線道路ネットワークの整備とともに、幹線道路以外も含めた全ての道路について一体的で階層性を有するネットワークの整備
- 市町村合併の地域での一体性を高めるためのネットワーク強化
- 人口の少ない地域での安全で安心な生活を確保できる道路交通サービスの提供
- 自然や環境との共生、職住近接、土地利用の高度化などにより効率的で持続可能なコンパクトシティの整備とコンパクトシティ相互間を連携する道路整備
- 各都市圏で地域特性などを考慮した地域独自の交通戦略の立案
- 交通戦略に基づく優先順位の明確化と、重点的 計画的な対策の実施
- バイパス 環状道路の整備による都市交通サービスの円滑化
- モビリティマネジメント、社会実験などの住民 利用者の合意形成による都市交通サービスの円滑化
- ITS技術を活用した実効的なTDMによる都市交通サービスの円滑化
- 大型施設立地に際し、交通アセスメントを導入するとともに、必要に応じて貨物車の荷捌きスペースを確保し、地域特性を考慮した運用方法を検討
- 高速道路の料金割引(ETC割引)等による利用率の向上
- 冬期も含め、高齢者や障害者に配慮し、歩行者、自転車、公共交通機関などの道路空間を再構築
- デマンドバスなど公共交通の導入 維持のための運営方針の検討

### 視点3 心から安心できる生活環境(「道路防災」から「くらしの安全」の確保へ)

- 最低限「命を守る道路」は必要
- 生活道路における高齢者や障害者等に配慮した人優先の安全 安心で快適な歩行空間の確保(バリアフリー施策など)
- 幹線道路におけるゆずりあい車線など高齢者等に配慮した道路整備や交通安全対策、「もしもしピット」の整備、事故多発箇所対策
- 科学的分析に基づく交通事故対策
- 密集市街地における防災安全性の向上のための都市計画道路および市街地整備の促進と、災害時における交通機能の確保と情報通信ネットワークの信頼性向上等に向けた無電柱化
- 自然災害時における緊急輸送道路や代替路の確保のため、格子型の高速度道路ネットワーク等の道路網の形成が不可欠
- 防災に関する道路整備水準と事業量の明確化
- 関係機関と一体となった危機管理体制の確立とともに、震災時における防災拠点としての道の駅の活用とそれに向けた整備
- 国民の安全保障上の道路ネットワークの意義を考慮
- 冬期の社会経済活動や生活面への影響を軽減するため、雪氷対策・ITS等の技術開発、冬期交通の確保、雪情報提供などを推進するとともに、冬期道路交通のサービス水準を検討

## 東北のみちのあり方について (提言)」 (H14.6.17)

### 提言 4 既存の枠組みを越えた人流・物流・情報の効率化 (「車の流れ」から「人の流れ」の効率向上へ)

- 国際化に対応するため、高速道路ネットワーク整備と、これらと港湾・空港との連結強化を図るアクセス道路整備
- 食料の安定供給をしていくためのシステム構築
- 公共交通機関との役割分担を考慮したマルチモーダルの推進による総合交通体系の構築
- 長い距離と時間を克服するために、道路管理用の光ファイバーネットワークの整備と光ファイバーの民間開放
- 下水道、河川等の光ファイバーネットワーク整備による情報の流れの効率化
- 安全、円滑、快適な道路交通サービスを提供するために関係機関等の連携によるITS施策を推進
- 効率的かつスピーディに交通サービスを提供するために、省庁間の縦割りを廃止し、交通や物流の結節機能の強化など横断的な連携施策を展開

### 提言 5 次世代につなげる地球環境と美しい風景 (「環境への配慮」から「美しい環境との調和、景観づくり」へ)

- 地球環境の保全、沿道環境の改善のために省エネ車の技術革新への期待とTDM、マルチモーダルなど道路交通円滑化を推進
- 沿道騒音の改善のための低騒音舗装や遮音壁などの整備
- 風景や景観等の保全、多彩な観光のため、それらと調和の取れた道路整備とともに、沿道の風景保全や景観規制への取り組み
- 街の賑わいや観光を演出するための建築物と一体となった、景観や街並みを形成する道路整備
- 循環型社会の確立のため、資源の有効活用、リサイクル、クリーンエネルギーの利活用

### 提言 6 事業のスピードアップ (「目にみえる道路行政」の実現へ)

- 早期供用やコスト縮減・時間管理の概念を導入
- 事業のスピードアップを図るための東北独自仕様の基準策定や、整備優先区間の明確化

### 提言 7 道路利用者・地域住民の皆さまとともに考え、ともに進める (「徹底したエンドユーザー志向」へ)

- 道路行政に関する情報公開とP活動の推進とカウンタビリティの向上
- 事業のわかりやすい目標設定と実績測定
- NPOなど多様な主体と連携を図りながらの地域住民と一体となった道路整備や道路管理、迷惑行為に対する道路利用のモラル向上

## 東北の今後の道路政策のあり方」の視点 (事務案)

〔今後の道路政策に求めるポイント、「視点1」、「視点2」に含まれる〕

### 視点 4 次世代につなげる地球環境と美しい風景 (「環境への配慮」から「美しい環境との調和、景観づくり」へ)

- 地球環境保全のためのCO2削減に向けた渋滞対策や、エコドライブ・高速道路利用促進など国民と連携した取り組みであるエコロードの推進
- 沿道騒音の改善のための低騒音舗装や遮音壁などの整備
- 地域の活性化や美しい国土づくりに向けた日本風景街道の促進など沿道、地域、道路が一体となった新しい価値の創造
- 景観づくりや街並み再生など、道路と周辺地域の価値を高めるための取り組みに対する新たな評価尺度の設定
- まちの魅力や観光を演出するための道路空間の一体的な利用や道路施設の文化資産としての整備と景観に配慮した無電柱化の推進
- 利用者のマナー向上や無秩序な沿道景観の改善
- 東北の豊かな自然環境、歴史ある文化や風土などを生かした観光振興へ向けた道路行政の支援
- 観光地アクセス向上、道路と沿道が形成する観光資源の整備、安全・安心に観光が楽しめ、情報を共有化できる「走りやすさマップ」、「とるば」施策、情報発信等について積極的な施策展開
- 循環型社会の確立のため、地域特性を生かした資源の有効活用、リサイクル、クリーンエネルギーの利活用

〔今後の道路政策に求めるポイント』に含まれる〕